

参加費無料

令和6年度

地域共生 シンポジウム

令和7年1月15日(水)

13:30-16:00 13:00 受付開始

天神ビル9号会議室(11F)

福岡市中央区天神2-12-1

定員50名

定員に達した場合、早期に申込終了する場合があります。

孤独・孤立に起因する福祉課題は複雑化・多様化し、ひとつの機関・主体だけでは解決が困難となっている場合も多く、多様な主体が互いの強みを活かし、協力しながら支援することが必要不可欠です。

今回のシンポジウムは、「仕事」をテーマに開催します。様々な要因で生きづらさを抱える人たちの社会参加のきっかけのひとつが仕事ですが、そこで求められることや、関わる人たちの立場はさまざまです。仕事を通じた関係が、本人の生活の改善だけでなく、地域全体の活性化に繋がるということを基調講演やグループワークを通じて、参加者のみなさまと共有できればと考えています。

program

第一部 / 基調講演

テーマ

『10年後の彼と地域を見つめた就労支援』
～未来への下ごしらえ～

講師

社会福祉法人 わたむきの里福祉会 棒芯 野々村 光子氏

第二部 / グループワーク

仕事が続かない方の支援方法や課題、
どうすれば支援体制を
構築できるかについて
みなさまと一緒に考えます。

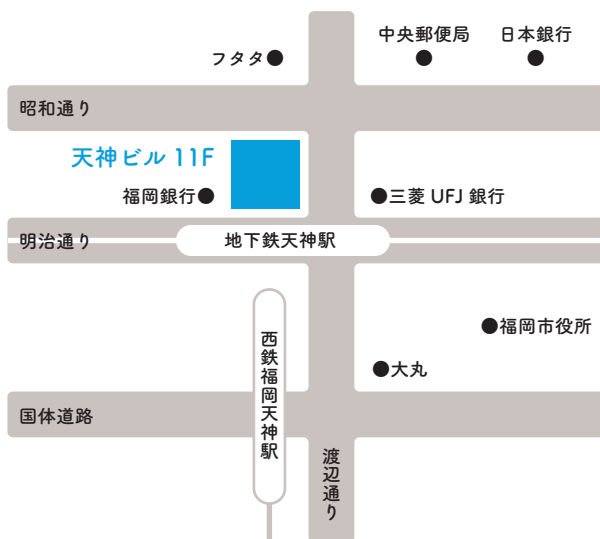
申込期限
令和7年
1月10日(金)
17時

お申し込みは
Grafferにて



※申込フォームの入力ができない場合は
お問い合わせ先までご連絡ください

<https://ttzk.graffer.jp/city-fukuoka/smart-apply/surveys/7911369901425509929>



※ 駐車場がありませんので、近隣のコインパーキングまたは公共交通機関の利用をお願いいたします。

お問い合わせ

福岡市社会福祉協議会 地域福祉課地域共生係
福岡市中央区荒戸3-3-39 福岡市市民福祉プラザ4階
☎ 092-406-0122 📠 092-751-1509
✉ kyousei@fukuoka-shakyo.or.jp



社会福祉法人わたむきの里福祉会
棒芯 野々村 光子氏

母親が始めた作業所が自宅という環境で育つ。6年間の精神障害者通所授産施設勤務を経て、京都障害者職業相談室にて4年間就労支援に従事。平成18年、社会福祉法人わたむきの里福祉会で「働き・暮らし応援センター“Tekitō-”」を立ち上げる。就労支援と「地域の困りごと」を結びつけた取組みが評価を受け、平成26年度ふるさとづくり大賞（総務大臣賞）受賞。現在は同法人内の相談統括役として勤務している。『人・モノ・金・愛』が循環する地域を目指して色んなものを発信中。



就労問題

働き方が多様化する一方で、格差の拡大や、障がい、高齢化などから「仕事を継続し、生活を安定させる」ことに困難を抱えている方がいます。



社会的孤立・孤独

家族や社会とのつながりがなく、他者との接触がほとんどない状態の「社会的孤立」。孤独死やひきこもりなど社会的問題を誘発する可能性を高めます。



障がいのある方の生活

障がいが多様性として認められる社会になりつつありますが、その中でも雇用や住まいなどの社会生活に差別が残っています。



8050 問題

ストレス社会の現代、誰もがひきこもりとなる可能性があります。ひきこもりが長期化し、同居の家族が高齢化した状況を「8050問題」といいます。



外国人の生活

近年在日外国人は年々増加しています。多様な国の外国人との共生社会に近づく中、まだまだ外国人にとっては住みづらい状況があります。



認知症の方の生活

毎年約1,000万人が新たに認知症になるといわれる現在、生活上のトラブル等からいくつかの社会問題が発生しています。

様々な要因で

生きづらさを抱える人たちの
「働く場所」を作ることが
より良い地域づくりに繋がります